

Happy Smiles! CCC

ボランティアで生まれた、見つけた、いい笑顔!



A…2016年度チャレンジファンド公開コンペ
 B…CCC開設科目「企画立案の基礎」
 C…デンソーハートフルまつり
 D…2015年度チャレンジファンド最終報告会
 E…なごやであそび隊「東山動植物園へ行こう！」
 F…熊本震災支援チーム【長久手】
 G…熊本震災支援チーム【星が丘】



編集後記

コラボ通信46号いかがでしたか?ご意見、ご感想お待ちしております。
 今年CCCは10周年を迎え、今回の46号は10周年記念号として編集させていただきました。実はコラボ通信は10年前のCCC設立からずっと発行し続けている歴史ある冊子なんです。これからもたくさんの学生を紹介していきますので、よろしくお願ひします。
 (CCCスタッフ・今井)

学生編集チーム

加藤真衣(メディアプロデュース学科4年)
 西川未菜(メディアプロデュース学科4年)
 後藤梓(メディアプロデュース学科3年)
 宇佐美舞(福祉貢献学科2年)
 倉野愛弓(福祉貢献学科2年)
 細田恭那(教育学科2年)

発行：愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター
 ●長久手キャンパス(11号棟1階)
 〒480-1197 愛知県長久手市片平二丁目9 (0561)62-4111(代)
 ●星が丘キャンパス(5号館1階)
 〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23 (052)781-1151(代)
 Eメール asccc@asu.aasa.ac.jp
 HP <http://www.aasa.ac.jp/institution/coc/index.html>
 利用時間 平日9:00~18:30(授業日以外9:00~17:00)

コラボ通信

vol. 46



10th ANNIVERSARY

目次

1. おしえて先輩	2
2. ボランティアレポート!	4
3. CCC10年の歩み	5
4. ヒト×ヒトつながりリレー	9
5. CCCイチオシ!	9
6. ようこそ先輩	10
7. Happy Smiles! CCC	12

学生時代にボランティアや社会貢献活動、地域に飛び出して動いた経験って、本当に卒業してから役に立ってるの？ そんな素朴な疑問を先輩にぶつける、卒業生インタビュー。

今回インタビューに協力してくれたのは、文化創造学部卒の河合悠希さんです。

プロフィール

河合悠希(かわい ゆき) 文化創造学部2012年卒 テレビ局勤務



Q COP10のスタッフをやってみようと思ったのはなぜですか？

A 「それまではCCCで紹介していただいてボランティアに参加してました。COP10のスタッフのお話をいただいて、今までの集大成として、一から企画するものに挑戦したいと思ったのがきっかけでした。リーダーをやってみようと思ったのは、これまでは引っ張って行くのは向いていないとばかり思っていたので、逆にやってみようかと立候補しました。」

Q かなり長い準備期間の中、苦勞したことはありましたか？

A 「参加者にどうやって交流して、その日二日の写真をスライドショーにして各チームの行動を全員が把握できるようにしました。」

Q 苦勞して成功させた交流会ですが、開催中や終わっただあとなどで何か参加者が反響はありましたか？

A 「当日はたくさんの方の笑顔を見ることができたのでうれしかったです。また、終わったあとに参加者にアンケートを実施したのですが、そのアンケートで『良い思い出になりました』、『愛知にこんな場所があるなんて知らなかったです』という言葉をいただき、企画して良かったなと思いました。半年間の達成感を味わうことができました。」

Q 社会人になってボランティア経験が活かされていますか？

A 「企画や提案書を作成する際に、企画・運営の経験がベースになっていると思います。あとは、仕事で取材をすることがあるのですが、どんなことを知ってもらえたら取材される側はうれしいかなと、取材される側の気持ちを考えることができるようになりました。」

Q 当日の交流はどのようなことをしたのですか？

A 「愛知淑徳大学をスタート地点としてそれぞれの5つのチームに分かれて行動しました。私のチームは合掌造りの日本の遊び体験や折り紙教室を実施しました。そのあと私たちが考えたメニューのお弁当を食べました。それぞれのチー

Q ボランティア経験を通じて得たものは何ですか？

A 「COP10の学生スタッフをはじめ色々なボランティアに参加してきましたが、たくさんの方に会うことができ、たのしみな経験だと思えます。COP10の学生スタッフとは今でも連絡を取っていますし、参加者の外国人学生ともSNSでつながっています。ま

Q 最後に学生たちに向けてメッセージをお願いします。

A 「とにかく自分の『好き』という気持ちを大事にしてもらいたいですね。やりたいことが決まっていなくてもいい人はとにかくまずはCCCへ立ち寄ってみてください。スタッフの方が



お仕事でインタビューをしたことがある河合さんは、「インタビューされる側は初めてなので緊張します。」とおっしゃっていました。写真担当の倉野さんも対話に参加してくれていたため終始にぎやかな雰囲気です。

聞き手/加藤真衣 メディアプロデュース学科4年

おしえて先輩用語

※1 ワールド・コロポ・フェスタ 毎年10月に開催される、国際交流・国際協力・多文化共生などをテーマにしたイベント。国際交流・協力や多文化共生をテーマに世界各国の歌や踊り、NGO・行政・公的機関などの活動を紹介。

※2 COP10 多様な生き物や生息環境を守り、その恵みを将来にわたって利用するための国際条約「生物多様性条約」の第10回締約国会議。2010年に名古屋市で開催されました。関連会議として「生物多様性国際ユース会議in愛知2010」も開催され、世界中から集まった青年と、愛知県内の大学生で構成された実行委員会が交流会を企画しました。

ボランティアレポート!

設楽町でお茶摘み!

学生団体「きらきら☆したら」企画 設楽町茶摘み体験



5/21 Sat 5/22 Sun
in 設楽町田峯地区

CCC学生団体「きらきら☆したら」は愛知県東三河にある設楽町の地域活性化を目的に活動しています。今回初めての試みとして、設楽町との協働イベント「茶摘み体験」を実施しました。当日はメンバーの他に学生ボランティアも参加し、茶摘み体験のみでなく、工場見学やまち歩きも行いました。設楽町の魅力を、参加してくれた学生たちに実際に知ってもらえるイベントとなりました。

学生コメント

初めての茶摘み体験でしたが、設楽町の方々温かく迎えて下さり、とても嬉しかったです。実際に茶摘みをして、茶葉の加工場を見学すると、生産者の方がどれだけ時間をかけて、一つ一つこだわりを持ってお茶を作っているのか、その大変さが分かりました。設楽町の自然に触れ、地元の方々の優しさを感じる、とても貴重な体験となりました。これからも、設楽町の魅力をたくさん発見していきたいです。

(交流文化学科3年 堀場由樹)



たくさんの人に名古屋城の魅力を紹介!

名古屋城本丸御殿 学生おもてなしボランティア



8/7 Sun
in 名古屋城内本丸御殿

2013年5月に公開を開始した名古屋城本丸御殿には全国各地や海外から多くの観光客が訪れます。その本丸御殿では約400年前から現在までの長い歴史の中で起こったドラマや、たくさんの方々の想いを伝えて未来へつなげるために、「学生おもてなしボランティア」が魅力や情報を発信しています。

学生コメント

「名古屋の観光地でガイドをしたい!」そう思った私は、4月から学生おもてなしボランティアの活動に参加するようになりました。活動当初は、本丸御殿について覚えるのに苦労しましたが、ですが、回数を重ねていくにつれて、出会ったお客様と楽しみながらガイドをすることができるようになりました。これからも人との出会いを大切に、楽しんで活動していきたいと思います。

(教育学科2年 和田清花)



秋～冬の
オススメ
ボランティア

【子ども】

○千種児童館「公園であそぼう」
(10月27日)

【国際】

○国際子ども学校(10月30日)
○(株)デンソー衣料回収活動
(10月15日・10月29日)

【福祉】

○あゆみの会(12月17日)

【まちづくり】

○はじめよう!つづけよう!スポーティブ・
ライブin瑞穂(11月23日)

☆詳細は月2回発行される「ボランティア情報」をチェック!



コミュニティ・コラボレーションセンター、通称「CCC」は、企業、NPO/NGO、自治体、地域とそれぞれの目標である様々な駅に向かっていきます。一緒に乗車する地域社会のみならず、また下車した駅の現場から、多くの学びを得ることでしょう。未来に向かって歩いていく学生たちを列車に乗せてサポートしていきます!



走り出そう。
地域へ、世界へ、
未来へ。



(独)国立青少年教育振興機構
指導主幹 北見 靖直 様

CCCがあった!だからできた!
私たちが夢に向かって挑戦するとき、いつもそこにCCCの学生たちがいました。国立中央青少年交流の家での「富士山国際エコキャンプ村」。そして、国立オリンピックセンターで国内初の開催となった「学生とボランティアが集う全国研究交流集会」です。CCCの学生だから持つ「優しさ」と「勇気」そして「共感力」で学生たちをつなぎ、多くの苦勞とともに乗り越えてくれました。私は忘れない、みんなの涙を!そしてそこから新たな歴史がはじまったことを。



めいとうボランティア展

2007 CCC開設科目開講&地域と連携したプログラム本格開始!

★CCC科目関連

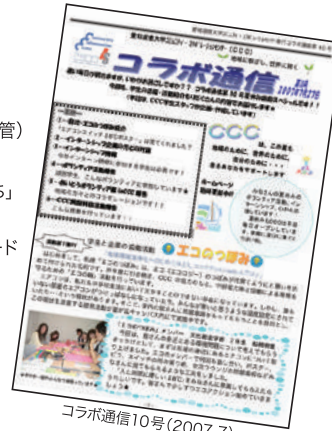
- ・「めいとうボランティア展」企画・運営
(学生と団体の協働による名古屋地域初の試み)
- ・NPOと連携し、EXPOエコマナーを利用した環境イベントの運営

- ・EXPOエコマナーフォーラム開催
- ・松坂市人権問題啓発冊子づくり
- ・堀川環境啓発活動

- ・インターンシップと公開報告会
(インターンシップは2008年にキャリアセンターへ移管)

★学生自主企画

- ・愛知県生涯学習センター発行の「まなびあい」制作に参加
- ・星が丘自治会とのクリーンアップ活動・スクールガード
- ・長久手キャンパス周辺Clean&Green活動



コラボ通信10号(2007.7)

2006 CCC開設&地域・企業とのアクション開始!

CCC開設 広報活動開始(466団体)(9月)

- ・CCC開設記念講演会&交流会(12月)
(トヨタ自動車株の社会貢献活動紹介と学生、千種区・名東区 社会福祉協議会、ボランティア団体との初連携によるポスターセッション)
- ・「サービスマーケティング講座」セミナー開催(講師:村上徹也氏)(1月)

★協働事業

- ・中部電力株との連携活動(学生団体「エコのつぼみ」)
- ・(株)デンソーとの連携活動(グリーンウォーク 等)

★学生の活動

- ・名東児童館、中村児童館、名古屋市障害者スポーツセンター、NIC、AHI等でのボランティア、富士国際エコキャンプへの参加





みんなで手話の勉強 手話deランチ

2008 学生企画の開花&地域のニーズに応えて

★協働事業

- ・NPOと連携した「ボラみ展」企画・運営
- ・在住外国人児童の思いを映像化・ケーブルTVで紹介

★受託事業

- ・長久手市委託事業グリーンマップ企画

★学生自主企画

- ・「エコメッセ」学生による環境活動ポスターセッション(16団体参加)
- ・学生による活動報告会、活動学生をつなぐ交流会「ボラの輪」、児童館、自治会と連携したスポーツ・環境・防災企画 など
- ・小学校英語活動サポート開始
- ・愛知県生涯学習課受託事業「学びの特派員」
- ・手話deランチ開始(障がい学生支援)



コラボ通信20号(2009.7)

2年間、ボランティアのマッチングイベント「ボラみ展」を愛知淑徳大学CCCと協働で開催しました。CCCに関わる教員と事務局職員の意識が高く、積極的に取り組む姿に驚くとともに、関わる学生のレベルも高く、イベントを盛り上げてくれました。CCCの取り組みはこの地域のトップランナーで、これからも走り続けてほしいと思います。



特定非営利活動法人ボラみより情報局代表 織田 元樹様



海岸沿いの地域清掃 表浜BLUE WALK

2009 新たな学生支援プログラムと広がる連携

- ・学生の社会貢献活動 団体支援「チャレンジファンD」開始
- ・在住外国人を対象とする「将来の進路を考えるワークショップ」実施と冊子「みつけよう将来の仕事!!」の作成

★協働事業

- ・長久手市との地域活性化プロジェクト「リニモ&環境学習会」

★受託事業

- ・日進市受託男女平等パートナーシップ事業(父親の育児参加応援プログラム) 企画・運営

★学生自主企画

- ・小学校での環境事業「世界の水事情」
- ・ボランティア展(ボラみ展)での「Let's Action 講座」企画・運営

2010 学生と地域の縁が新たな可能性を創る!

- ・愛知県「環境賞」優秀賞受賞

- ・長久手市と本学との間で連携協定締結

★受託事業

- ・愛知県主催「COP10国際コース会議参加者&愛知県青年との交流事業」企画・運営
- ・COP10パートナーシップ企画 名古屋港水族館との連携で映像企画製作

★助成金交付事業

- ・愛知県主催「学生によるリニモ沿線地域づくり活性化事業」

★協働事業

- ・名古屋三越との販促品の企画・開発
- ・長野県農家との協働プロジェクト 南信州規格外野菜スイーツ開発

★学生自主企画

- ・CCCイメージキャラクター「しーちゃん」誕生&ネーミング募集!



CCC設立10周年おめでとうございます。貴団体を通じて、多くの学生の皆さんが当センターのボランティアとして、外国の子どもたちに日本語を教えていただきました。この経験を自身のために活かしていただければ嬉しく思います。今後も、貴団体を通じた多くの出会いを楽しみにしています。



(公財)名古屋国際センター 交流協力課 川村 真史様



JICAメキシコ研修生との観光交流

この度は、10周年おめでとうございます!はじめてCCCにお邪魔してから、早6年。COP10のコース会議「交流会」では、CCC、学生の皆さんの力をお借りし、すばらしいものを一緒に作り上げることができました。その節は本当にありがとうございました。あの時のCCC、学生の皆さんとの思い出が心の中に鮮明に残っています。いつも温かく迎えてくださるCCC、また癒されにお邪魔します。今後も色々な場面でコラボレーションをお願いします。

愛知県 県民生活部文化芸術課 国民文化祭グループ 川本 清彦 様



COP10国際コース会議交流会



2011 5年の軌跡をふり振り返り さらなる前進

- ・CCC 5周年記念セレモニー開催

★受託事業

- ・日進市委託事業「子ども国際理解教室」

★学生自主企画

- ・JICAに行こうツアー
- ・学生活動報告会 ~NICE 国際ワークキャンプ~ 他16回
- ・震災意見交換会 東日本大震災支援事業開催(年6回) →学生団体「なごやであそび隊」発足



CCC 5周年記念セレモニー 学生発表の様子

2012 培ったネットワークで はじまる新たな挑戦

★協働事業

- ・内閣府主催「日本・韓国青年親善交流事業」企画・運営
- ・中日新聞主催「地球未来こども塾」運営サポーターとして活動参加

- ・全国ボランティアコーディネーター研究会(星が丘キャンパスにて開催)

★受託事業

- ・名古屋市青少年交流プラザとの連携事業企画・運営

★助成金交付事業

- ・長久手市協働まちづくり事業企画・運営 →学生団体 こめ☆こめくらぶ

★学生自主企画

- ・日進市「チャレンジド夏祭り」ブース運営
- ・瀬戸信用金庫協働事業 すみれ苗贈呈式&レクリエーション



大杉谷自然学校 キャンプカウンセラーボランティア



コラボ通信35号(2013.2)



2013 基盤をかため 世界も視野に!

★協働事業

- ・JICA中部メキシコ研修員とのおでかけボランティア(CCC共催)
- ・トヨタ車体株、知立市社会福祉協議会との連携事業「障がい児とのブルーベリー摘みイベント」開催

★受託事業

- ・名東区人権尊重のまちづくり事業 「めいとう☆といろ〜カルタをつくらう!」

★学生自主企画

- ・学生企画「Let's be Leader's!」開催
- ・北海道厚沢部活性化事業「魅力発掘女子隊」
- ・名古屋コーチンもりあげ隊「おもてなしレシビコンテスト」開催
- ・「キャンドルナイト Nagoya2013」(ナゴ校事業)にて学生が多数活動
- ・環境講座「食x環境」(枳塚味噌)
- ・環境サロン「ESDカフェ〜持続可能な明日のつくり方〜」((公財)名古屋国際センター)
- ・ESD大学リレー・シンポジウムにて学生発表



「なごやであそび隊」震災支援活動の様子



風の自然学校
北垣 かなえ様(卒業生)

10周年おめでとうございます！
ここを扉に地域へ羽ばたき、そこでしか出会えない方々と新しい世界を共有したワクワク感を今でも覚えています。「つながり」と「あたたかさ」は日本一！これからも大好きなCCCを陰ながら応援しています。



コラボ通信42号(2015.2)

2014 CCCで育まれるESD★ ～持続可能な社会を創る人づくりを目指す～

- ★協働事業
 - ・JENESYS2.0 学校交流事業開催 (一般財団法人日本国際協力センター)
 - ・ESDユネスコ国際会議 (通訳ボランティア、子ども会議学生サポーター、分科会参加 など)
- ★学生自主企画
 - ・学生スタッフ企画 「ESDサロン(年5回開催)」「しゃべりバ!」「学生団体交流会」「つながりルール」活動報告会
 - ・瀬戸信用金庫との連携企画 テレビ・ラジオ番組制作
 - ・長久手市総合防災訓練における炊き出し企画 (学生団体「Do Nabe net」)
 - ・長久手市ごみ減量プロジェクト (学生団体「Na-Gomi」)
 - ・「MAKE A DIFFERENCE」学生企画委員として学生が参加 (独立行政法人国立青少年教育振興機構主催)
- ★助成金交付事業
 - 魅力発掘女子隊! あっさ部(北海道厚沢部町)
 - 被災地からの避難児童と日進市児童の共同キャンプ開催(日進市)
 - 障がいのある子とない子の交流イベント(日進市)
 - 地域の高齢者と児童をつなぐイベント(名古屋市)
 - 間伐材の活用促進事業(愛知県)
 - 規格外野菜を活用したスイーツ開発・販売(日本財団)
 - 東邦ガス ガスエネルギー館での子ども向け環境イベント(東邦ガス株)

2015 10年の節目に向けて原点確認&改革 地域への感謝をこめたコラボメッセスタート!

- ・学園創立110周年記念事業「コラボメッセ」(NPO、行政、企業等25団体×学生25団体活動発表、交流事業)
- ★協働事業
 - ・トヨタ自動車(株)JDR トヨタとの協働事業 「独居老人とのふれあい交流会」開催
- ★学生自主企画
 - ・学生スタッフ企画「しゃべりバ!」「It's a small world」「長久手市内一斉防災訓練」ブース出展、名古屋主催「ぼらマッチ」ワークショップ、日進市「市民まつり」連携大学ブース出展、「未来の自分をデザインしよう」、活動報告会多数
 - ・第6回「Make a CHANGE Day」奨励賞 受賞(学生団体「ちゃっちゃん」)
 - ・「国際ソロプチミスト」よりシグマソサエティに認証(学生団体「あじゅあす」)
- ★助成金交付事業
 - ・過疎化・高齢化が進む山間地域の伝統芸能の保存サポートと都市地域への情報発信 他 多数

地域の皆さまへ感謝を込めて

CCCはこの9月で開設10周年を迎えました。この10年間、「学生が主役となり地域貢献活動を通して成長すること」「活動でキラキラ輝く大人の姿を学生たちに見せること」をモットーに運営してきました。

CCCを訪れた学生の初めの1歩は、いつも学外のみなさまの元につながっています。学生たちはみなさまの元で学びます。笑顔を創り出す素晴らしさ、大切さ、そして続けていく大変さ。でも、そうやって社会を少しずつ変えていく大人がたくさんいることを。活動を繰り返すことで、自分の弱みは何か、強みは何か。自分が学ばなければならないことは何かを知り、成長していきます。そして、動けば社会が変わることを心と体で体験します。

この10年間、学生たちに貴重な学びの場をご提供いただいた地域の皆様、団体、企業、行政の皆様には、深い感謝の気持ちでいっぱいです。いつも本当にありがとうございます。10年、20年先の地域の姿と一緒に語り合えるよう、寄り添っていかれたらと思います。今後ともご指導、ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

CCCスタッフ一同



学生スタッフ主催ESDサロン

ヒト×ヒト つながりリレー

ボランティアの面白さ
=新しい人との出会い！
いろんな人と出会える楽しさで
ボランティアにはまっていく学生も
多くいます。
つながりリレーでは「ボランティアで
こんな人につながったよー!」を紹介します。



“風の自然学校”
「風の自然学校」は愛知県・東三河地方を中心に自然の中で自由に遊んだり、学んだり、感じたりすることを目的に活動しています。山・川・海などの自然の中でフリーキャンプや、竹・木などの自然素材を使った工作教室、水族館や動物園での自然体験活動や環境教育などを実施しています。

僕は同じ学科の芳賀亮汰くん(りょーた)を紹介します。りょーたは、「風の自然学校」のキャンプによく参加していて、子どもたちとの関わりを大切にしながら活動しています。そんな彼は教育学科長を務めていて、教育学科全体の仕切り役。いつも先頭に立ち、みんなをまとめる素敵な存在。そんな彼だからこそ、自然と人をひきつける力があるのかな。今年の夏も、「風の自然学校」のキャンプに参加したり、ベトナムの孤児院を訪問したり、積極的に活動したらしい!僕も負けてられない。お互い切磋琢磨し合える自慢の友達です!



幅 琢真(はばたく)さん
教育学科3年

僕は教育学科3年の山下ひなさんを紹介します。ひなさんは幼児や小学生に英語を教えるボランティア「ASU element project」で活動をしています。ひなさんは、とてもしっかり者でまじめな性格なのですが、常に笑顔を保ち、周囲を明るくしてくれます!ひなさんは一つ一つのことを真剣に考え、取り組むことができます。その積極的な姿勢を見ると、「僕もまだまだ頑張らねば!」と元気づけられます。まだまだパワーアップするであろうひなさんをこれからも応援したいです!



山下ひな(ひなさん)さん
教育学科3年

次号は…
ひなさんからの
つながりリレー!



CCC運営委員の先生に聞く「学生へのイチオシ!」

第3回はビジネス学部久保田絢先生から、学生のみなさんに伝えたい一冊をご紹介します。



CCC イチオシ!



脳の右側で描け
ベティ・エドワーズ著
河出書房新社 2013年

みなさんは右脳と左脳のはたらきの違いをご存じでしょうか。左脳は言語的、分析的なはたらきをし、右脳は全体像を捉えたり、対象を文脈の中で捉えるといった空間認知のはたらきをします。大学の授業などでは左脳の思考を使うことが多いわけですが、近年右脳の思考が重視されるようになってきています。では右脳モードでものごとを知覚するためにはどうしたらよいのでしょうか。その具体的な方法を紹介しているのが本書です。本書は絵の描き方を教えてくれるだけでなく、右脳モードという新しい視点でものを見る方法を教えてくれます。例えば、右脳モードに切り替える1つの方法として、逆さになった絵を模写するというものがあります。逆さにすると、どこの部分を描いているかわからなくなるので、「口」「鼻」といったシンボルに置き換えるという左脳の思考に邪魔されずに右脳モードで描くことができます。ほとんどの人は逆さにしないで描いたときに比べて各段に上手に描けるそうです。つまりこの本のトレーニングを行うと、右脳モードでものを知覚する方法を習得することができ、その結果デッサンの技術を各段に上達させることができます。みなさんも右脳モードを体感してみませんか。

学生時代はボランティア、あんまり興味なかったけれど…。
後輩の学生たちが企業の社会貢献活動を一緒に考えてくれました。
そんな後輩の姿に出会った卒業生と企業の社会貢献について話してみました。

今回インタビューに協力してくれたのは、ソニーグローバル
マニュファクチャリング&オペレーションズ㈱(以下 SGMO)に
勤める卒業生、鈴木奏江さんと鈴木菜央さんの2人です。“お
しえて先輩”では、学生時代に CCCを通してボランティア活動
をおこなった卒業生のその後を紹介するコーナーですが、今回
は10周年特別レポート“ようこそ先輩”。

2015年より学生が「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」に

参画したことで、SGMOと環境に関する社会貢献活動を企画
することになりました。そして、いくつか活動が始まっています。
今年も続けて、学生たちが活動の企画提案を行っているので、
SGMOで働いている卒業生も活動にお誘いしてみました。現
役の淑徳生の活動があつての今回のこの出会い。ボランティア
の輪が広がっていくといいですね。↑



左から新谷彩織さん、丹羽将旗さん、鈴木奏江さん、鈴木菜央さん、石黒友理さん、倉野愛弓さん

▶“ようこそ先輩”への経緯

昨年、愛知県主催の「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」に私
たち学生が参加しました。以前より行っていたソニーの森での環境活動
を社内のものだけでなく、学生、地域を巻き込めるような活動にでき
ないかといくつか提案を出しました。

子どもたちがいつでも森で環境学習ができるといいなと思って提案
した「森のMapづくり」。その子どもたちに森の生物多様性を説明で
きるよう、社員のみなさんが参加して行う「森の案内人(インタープリ
ター)プロジェクト」。地域の方々にも森を知って、
親しんでもらおうと考えた「森の音楽会」。



私たちは提案で終わるのはもったいないと思
い、その後、社員のみなさんと実現化に向けて
活動を続けてきました。

先日行った「森の音楽会」では
ちょうどお月見と重なったことも
あり、演奏された音楽&鈴虫の
ハーモニーを聴きながら、自然
を感じる素敵な会になりました。
こんな風に提案が実現化され
いき、多くの方が森の素晴らしさを体感してくださっていると嬉
しいです。

今年も4人の淑徳生が SGMOに新たな活動提案を行っています。
昨年、始めたつながりが今年も続けて行われることにも喜びを感じ
ます。



交流文化学科4年 植松明里

Q お2人のお仕事は
どんな内容でしょうか？

A 現在、(鈴木奏江さん)私は
経理課で主に固定資産会
社の設備や工事等の管理業務を
担当しています。

(鈴木菜央さん)私は取締役、部門
長秘書・庶務を担当しています。
国内、海外問わずコミュニケーション
をとり、会社を円滑に運営でき
るようサポートしています。

Q まずは、SGMOの社会貢
献や活動について教えて
ください。

A (お2人)SGMOでは様々
な社会貢献を行っています
が、敷地内にあるソニーの森では
生物多様性の保全や地域への環境
学習・啓発を行っています。そこ
では、ふくろうが生息する森づく
りを目指して、社員ボランティア
が間伐や巣箱づくりを8年間行っ
てきました。今年、初めてふくろ
うを発見することができて、みん
なで大変よろこんでいるところ
です。ふくろうが棲む“ということ

は、それだけ生態系が豊かな森だ
ということですから。

他にも、社員で育てたどんぐりの
苗木を小学生のみなさんに渡し
て、1年間、観察しながら育てていただ
く、「どんぐりプロジェクト」も実施
しています。

今年からは社内で生物多様性分
科会を立ち上げて、社員それぞれ
から環境に関する意見をもらった
りもしています。

Q 後輩の活動する姿を見て、
どう思いますか？

A (菜央さん)熱心に質問いた
だいたり、積極的な取り組
みに頼もしさを感じました！



医療福祉学部卒の鈴木奏江さん(左)と鈴木菜央さん(右)

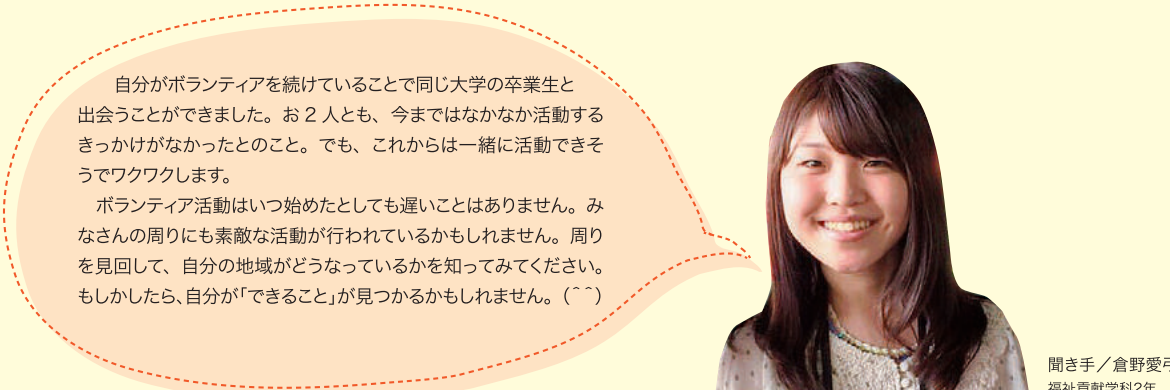


間伐作業の様子

私が学生だっ
たときはこんな
にしっかりといて
たのかなあと不
安になるほどです
(笑)
また学年はバ
ラバラ、もとか
らのお友達とい
うわけではない4人とのことでした
が何でも話し合えるような垣根の
ない雰囲気は素敵で、私もとても
いい刺激を受けました。
今後の活動、楽しみにしてあり
ます！
(奏江さん)自分の想像の上の上を
いく、素敵な後輩でした！(笑)
話の進め方や受け答えなど、聞
き上手で、でも聞いているだけでも
ないと絶妙で、褒めるところしか
なかったです。学生のみなさんの「気
づき」に、期待しています！
(お2人)今後、日程が合えば、ゼ
ひ一緒に活動したいと思っています！

ようこそ 先輩用語

※かがやけ☆あいちサスティナ研究所
未来の地域の担い手となる学生が、グローバルな視点を持って継続的にエコアクションを実施することができるよう、愛知県が立ち上げたプロジェクトです。
研究員を務める学生が、パートナー企業から指示された事業活動などにおける環境面での取り組みに関する課題に対し、企業の現場での調査や企業の担当者とのディスカッションを通して、解決のためのプランを企業側に提案します。そして、採択されたプランは実施されることになります。



自分がボランティアを続けていることで同じ大学の卒業生と
出会うことができました。お2人も、今まではなかなか活動する
きっかけがなかったとのこと。でも、これからは一緒に活動できそ
うでワクワクします。
ボランティア活動はいつ始めたとしても遅いことはありません。み
なさんの周りにも素敵な活動が行われているかもしれません。周り
を見回して、自分の地域がどうなっているかを知ってみてください。
もしかしら、自分が「できること」が見つかるかもしれません。(^^)

聞き手/倉野愛弓
福祉貢献学科2年